

発言No.

3

受付No.

3

令和 4 年 2 月 15 日
10 時 9 分 受付

会 派 代 表 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番

氏名 川 上 幾 雄

答弁を求める者
(○をつける)

☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

全国的に新型コロナウイルス感染症が蔓延し、我々が住まいする浜田市も多くの感染者が発生するとともに、市民生活に大きな影響が出ている。このような浜田市において行政サービス等を確実にを行うため施政方針及び教育方針が示された。示された内容を確認し、多様な観点から問う。

1 新型コロナウイルス感染症対応について

長引く新型コロナウイルス感染症対策は、国県に準ずるとともに先行施策を実施されている。現時点での施策や対策が十分とは言えないと思われる。

(1) 今後、コロナ感染症対策として加えるべき施策について

① 今後加えるべき施策について検討しているのか、検討しているのであればその施策はどのようなものか問う。

(2) コロナ渦中の学校(生徒、先生)に必要な対応策について

① コロナ禍により学校に大きな影響が発生していると思われる。小中学生・教師への影響をどのように評価し対応策を検討しているのか、状況や考えを問う。

2 若者対策について

これまでも幾多の若者対策がなされてきた。例として「起業家支援プロジェクト事業」、「はまだ暮らし応援事業」、「男女の出会い創出事業」、「安心お産応援事業」などがあげられる。

(1) 「出会い・結婚・出産・子育て」をトータルで応援する事業について

① 令和3年度から「出会い・結婚・出産・子育て」をトータルで応援する事業に取り組んでいるとある。トータルで求める効果の到着点とは何かを問う。

(2) 新たな若者対策について

- ① 新たな事業と示された、結婚したカップルや赤ちゃん誕生世帯への応援金、第3子以降の保育料及び保育所等の給食費の無償化、以外に実施される事業を問う。
- (3) 子ども医療費の完全無償化について
 - ① 子ども医療費の助成を、これまでの中学生から18歳までに拡充するとのことであるが、「住みやすい浜田・住んでみたい浜田」の観点から完全無償化の道を選択しなかった理由を問う。
- (4) これまでの若者対策の評価について
 - ① 若者を支援する事業の創出、拡充に取り組むとのことであるが、事業を立ち上げる当初予算を組むことはこれまでも成されて来た。これまでの事業が根付いたかどうかの評価を行っているのか、その状況と考えを問う。

3 協働のまちづくりの推進について

協働のまちづくりの推進を掲げ昨年よりスタートした制度であるが、市民への浸透不足は否めない。今後も持続的に理解を促す方策の模索と実施は必要とされる。

- (1) 地区まちづくり推進委員会設立への支援について
 - ① 地区まちづくり推進委員会の設立への支援を行うとのことであるが、これからどのような支援をいつまでを目処に行うのかを問う。
- (2) 地区まちづくりセンターの拠点整備について
 - ① 地区まちづくりセンターの拠点整備を行うとあるが、新設となれば「浜田市公共施設再配置計画」を遵守して行うのかを問う。

4 各種施策について

産業振興、健康と暮らし、人を育むまち、自然環境、生活基盤、安全安心、持続可能なまち、の7大綱を基に種々の施策を掲げて市政運営に取り組まれることは理解できる。また、健全な市政運営に向けた取組も示された。しかしこの中には多数の問題をはらんでいると思われる。

- (1) 陸上養殖について
 - ① 平成26年に「浜田漁港高度利用促進事業」としてスタートした浜田漁港活性化策は、幾多の変遷を経て現在も継続されている。この中で陸上養殖についても言及されているが今後の動き及びいつまでを目途にされるのか、その時期・計画を問う。
- (2) BUY 浜田運動について
 - ① 元気な浜田事業として平成28年に事業を開始された「BUY 浜田運動」について、趣旨、これまでの効果、今後の展開について、その評価と計画を問う。
- (3) 地元就職、UI ターン者の定住について
 - ① 幾多の支援策で地元就職、UI ターン者の定住につなげるとあるが、これまでも同趣旨の施策が行われた。これまで行った施策の評価を基に行うのか、その考えを問う。
- (4) 安心して育てる観点で必要な施策について

- ① 子どもを安心して生み育てる環境については、施設の整備等の完成をもって必ずしも十分とは言えない。制度の拡充もされるようであるが、「安心して育てる」の観点から「必要な医療費」も含め検討状況を問う。
- (5) 医療体制の充実について
 - ① 医療体制の充実についてはこれまでも関係機関との連携がなされた。しかし、個人病院・診療所の廃止、医療センターの医師不足、看護師不足など幾多の問題を抱えている。個人病院・診療所への支援策、医師招聘策、医療センター、看護学校及び育成施設への支援策・考えを問う。
- (6) 学校に及ぼす働き方改革について
 - ① 国の示した「働き方改革」により、今後学校生活に大きな変化が生まれると聞く。その中でも、小中学校のクラブ活動への影響を危惧する。市が行う対策を問う。
- (7) ふるさと郷育の推進について
 - ① ふるさと浜田への愛着と誇りを醸成する「ふるさと郷育」を推進するとある。示された各学年35時間についての根拠と方策、そしてこれまでとの違いを問う。
- (8) 学びの環境整備(トイレ)について
 - ① 学びの環境整備は逐次進められているものと理解するが、未だトイレ環境の整備が進んでいない。現代の子供たちは家庭においてほとんどが洋式を使用している。しかし、学校においては約70%が和式であり学童が困惑すると聞く。洋式化については逐次取り組んでいくとのことであるが、施策と全てを処置できる時期を問う。
- (9) GIGAスクール構想の環境整備、指導体制について
 - ① 国が進めようとしているGIGAスクール構想は、現在のコロナ禍においては有効な方策であろう。しかし、未だ中途半端な状態であり、タブレットの配布はしたが児童生徒の環境への配慮が不足と思える。環境や指導体制の整備について問う。
- (10) 「歴史文化保存展示施設」の遊休施設利用について
 - ① 「歴史文化保存展示施設」を「郷土資料館建替え整備」するとして、事業名の変更で建築の方向性を強める考えを示されている。新築と言わず「公共施設再配置計画」で示される遊休施設の活用を優先すべきであろうが考えを問う。
- (11) 海岸線の自然豊かな環境を乱す漂着物について
 - ① 環境保全と快適な住環境づくりの推進を示されている。当市は自然豊かな海岸線を持ち、観光資源としての活用は今後一層なすべき方で、この環境を乱す海岸漂着物に対する必要な措置と考えを問う。
- (12) 君市踏切、廃業で発生する商業施設について
 - ① 生活基盤が整った快適に暮らせるまち、として、道路網の整備、公共交通の充実、地域情報化の推進、浜田駅周辺整備、生活基盤の整備など5点を示されている。この内、君市踏切の移設工事についてこれまでの経緯・今後の進捗を問う。
また、駅前周辺において廃業で発生する商業施設の取り扱いについて問う。
- (13) 危険空き家対策等への支援について
 - ① 定住環境づくりの推進として空き家バンク物件の改修費助成等を示されている。市

街地の空き家は今後増々増加する傾向にあることは明らかであり、空き家バンクのみならず危険空き家対策等へ支援する必要があると思われる。考えを問う。

(14) 「行財政改革実施計画」と「公共施設再配置実施計画」の整合性について

- ① 「行財政改革実施計画」、「公共施設再配置実施計画」を着実に実施すると示された。行財政改革大綱に掲げられた「スクラップ・フォー・ビルド」の基本理念と再配置実施計画の整合性を問う。

(15) 行財政改革の取組について

- ① 行財政改革の取組において、事業の見直し、遊休財産の売却、自主財源の確保が示されている。改革は一步下がって、意識改革からではなかろうか。考えを問う。